

従業者向け

児童発達支援評価表

令和7年1月実施/回答数：28件中28件

事業所名：キッズゆにつく学園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	93%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・2つのグループに分かれて活動している ・2グループに分かれて療育をし、安全面に配慮し児童の様子をしっかりとみることができるようになっている ・定員いっぱいまでくると、職員の人数も併せると少し圧迫感を感じる ・人数とスペースに合わせた安全な活動をするようにしています ・集団用の部屋や小集団、個別用の部屋がありスペースは十分にある ・個別で利用できる部屋があるので、用途に合わせてしようしている ・児童+職員で全員で過ごす時間には20名以上になることもあるので、危ないと感じることもあります ・十分なスペースの確保が難しい時は、活動内容を工夫したり、安全に活動できるようにおこなっています
	2	職員の配置数は適切であるか	104%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数は他デイに比べると多い ・児童一人に対しての職員配置は、年齢などに応じていると思います ・出勤しているスタッフで、安全に過ごせるよう考えて配置しています ・1歳半から3歳前後の子どもには必要に応じて一対一の配置されることが多いです。その他の児童にも必要な人数の配置ができています ・規定の配置数よりかなり多く配置していると思います ・1対1など、手厚い職員配置をしています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか (施設内外に階段が多く、肢体不自由児の受け入れができない。椅子式階段昇降機やスロープを取り付ける準備もできていない。)	41%	37%	26%	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりや滑り止めマットなどを使用し、環境整備を行っているが、改善が必要などところもある ・階段昇降時の転倒防止用にマットを設置 ・肢体不自由児にかぎらず、子どもが活用しやすい環境を目指す意味でも検討すべきでは ・通所児童に対して、施設内の危険な階段・段などは職員が適切に配慮しています ・手すりの設置、床や階段の踏み場は滑りづらいように工夫している ・バリアフリー化はないが、児童の安全を考えて危険な場所は都度周知・修復している ・部屋で活動する内容がわかれており、青の部屋では身体を動かす、白の部屋では机上で制作をするなど、子どもたちに分かりやすく部屋の移動の時もスムーズでストレスなく活動に取り組みしています。階段は子どもが手すりをしっかりとつかんで登れるように手すりを工夫したり、廊下なども急な走り出しでケガなどがないようにチャイルドゲージをつけるなどしています。またプレクラスや1くみのような小さい子どもの部屋は、床は寒くないように、ジャンプした時に膝に負担が過度にかからないように等の理由からマットをひいたり、必要な部屋の壁にはクッションシートを取り付けたりしています ・階段は多いが、手すりなどを活用し危険な動きをした際には、言葉がけを行いながら注意深く登り降りしている ・バリアフリーではありませんが、子ども達が安全に遊べるよう配慮しています
	4	生活空間は、清潔に整理されるなど、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	93%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動の中心となる空間はとても清潔だが、階段などは埃が溜まりやすく目立つため工夫が必要かと思う ・児童が気になってしまう物やきけんなもの(ハサミなど)は見えない場所でほかんするようにし、療育に集中できるような環境づくりを心掛けている ・子ども達の手の届かないところまで清掃が行き届けば、尚良いと感じる ・各室内の使い方をスタッフ間で安全面を考慮し、設定を行っています ・清潔な環境になるよう気付いた時に整理・清掃している。細かなところももう少し気づいていきたい ・生活空間は子どもの目線に活動の妨げになる物など教材や教具をごちゃごちゃ置くことなく、すっきりとしていて集中しやすい環境を意識しています。玄関や身支度をする場所、トイレなどはそれぞれ何をする場所か子どもに分かりやすいように絵カードを置き、言葉だけではなく視覚でも確認できるように工夫しています ・来所時は、静と動の遊びに分けて提供し、帰宅前に自由時間にて好きな玩具で遊ぶ時間としている ・活動に併せてカーテンで仕切るなどをしている ・空気清浄機の清掃忘れが多い。フィルター詰まりめめかを感じる
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか (月1回全体ミーティングでの話し合いを行っている。)	104%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、クラスミーティング・主任ミーティング・全体ミーティングを行い、話し合いをしている ・クラスミーティング、主任ミーティング、管理者ミーティング、全体ミーティングの流れもあり、参加できないスタッフへは文章で伝え、振り返ることができている ・毎月のMTIにて確認している ・月に一度の全体ミーティングや必要に応じて担当者会議などを開催するなど情報共有の機会が多いです。また欠席した職員にも議事録での確認をお願いしています ・回覧などで周知するようにしている 	

6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか (昨年度の評価表をHPに公開し、そこに記載されていた意見についてミーティングで取り上げた。)	104%	0%	0%	・毎年行われる評価表の内容は全職員で把握し、保護者の意見を療育に生かしています
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか (HPに公開している。)	104%	0%	0%	・保護者向けの評価表はもとより事業者向け自己評価表はすべての内容を事業所内外の方々に周知していただけるようHPに公表している
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか (2024年11月時点において、できていない)	22%	7%	67%	・今後の検討課題の一つ
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか (2024年の実施例として、5月に子どものアセスメントとヨガの生かし方、6月の虐待防止研修会、理学療法士目線でのゆにっくの動的活動、感染予防研修、ESDM(超早期療育)研修など)	100%	4%	0%	・研修を行い、支援に活かしているが、時間がゆるすのであればパートの方への参加もしていただけたらいいと思います ・療育に直結した内容の研修を通して療育の幅を広げたり、保護者が安心して預けていただけるよう安全面を強化するような研修などを行った ・パート職員が参加しにくいことがある
10	担当職員により、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	104%	0%	0%	・職員で個別支援計画など、一人の児童に対して話し合い、共有し困り感を反映させている ・保護者の気持ち、心配や困りごとを丁寧なひらろ配慮をするよう努めている ・毎月担当者会議をおこなっている ・クラスMTで話している ・アセスメントは保護者に来所していただく場合や担当スタッフによるご自宅訪問、またご都合がつかない場合はお電話でという風にご家庭の都合や環境に配慮して、実施しています。その際には保護者からのお話をじっくりお聞きし、保護者の感じている困りごとやニーズ、課題を掘り起こしながら支援計画の原案を作成しております ・一人ひとりの児童に対して時間をかけて適切に分析を行っていると思います
11	子どもの適応行動の状況を図るために、各クラス内でのアセスメントツールを使用しているか	89%	15%	0%	・子どもの困りごとや特性、アレルギーなどや保護者様のニーズをクラスで把握している ・機能訓練士による個別・小集団による療育の時に使用する細かいステップに分かれたアセスメントツールを用いて適応行動の状況を図っています
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているかなど、利用児童の個人ファイルに管理し、支援計画の内容を確認しているか	104%	0%	0%	・各項目ごとに目標設定を行っている ・常に確認できるようにしている ・当事業所の独自の個人ファイルにて今までの発達支援や家族支援の記録や今後の計画等を残し管理している
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	104%	0%	0%	・支援計画作成前にクラスで会議を行い、児童の様子を共有したうえで作成している ・計画書や児童の困りごとなど、考慮しながら行っています ・個別支援計画は保護者やスタッフに分かりやすく、細かなステップを設定しやすい計画書になっているので、活動やその他の療育の際にとっても役立てている ・何をどんなことを必要としているのか、チームで話し合いを行っている
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	4%	0%	・スケジュールは職員間で話し合い作成しています ・主な立案は主任。当日の内容は担当者が決めており、一応各々がチームとして働いている ・その日のリーダーが大まかに決まるが、他のスタッフの意見も取り入れやすく、色々な声を反映させている
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	104%	0%	0%	・子どもの様子や発達について考えながらプログラムを組んでいる ・その時の児童の様子や発達段階・課題点に応じて計画するよう努めている ・児童の得意なことを伸ばしたり、苦手なことも少しずつ取り組めるよう工夫しています ・クラスの先生方で時間をみつけ話し合っている。先生方の工夫にいつも感謝し、勉強させていただいている ・同じねらいでも、日によりプログラム内容は工夫している ・季節に応じたプログラムを取り入れるなど、療育に特化した活動にアレンジを加えている ・月案をチームで話し合い、次月の活動について話し合い考えている ・日々、様々な活動を行っている ・様々な療育のプログラムを考えており、児童をもて喜んでくれていると感じる ・固定化しないよう意見を出し合ったり工夫して行っています

適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、実施しているか	104%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練士とも相談しながら療育を行っている ・個別支援、小集団支援、集団支援など子どもの課題に合わせて支援計画を作成し実施している ・その日の児童の気持ちの状態なども大切にしながら実施している ・子どもの状況に応じて行っています
	17	支援を行う時までに職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担などは、ホワイトボードにて各職員に伝え、細かな注意点には口頭で伝えている ・クラス内周知、個別に話すなど対応できている ・毎回実施している ・その日のリーダーを中心に決め、療育をおこなっている ・出勤時間の関係でできないことがある。事務時間の確保ができず、できないなど
	18	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	96%	7%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ行っているが、できなかった時には、翌日に行い共有している ・その日のうちに話すことが難しい場面もあるが、ミーティングやLineを活用し共有している ・十分時間をとれない日もある。次の日など情報の共有をはかっている ・送迎などで話せない時もあるが、今日の様子として共有している ・活動の後は送迎があったり、記録に時間がかかるなど、その日のうちに担当者会議などができない日も多々ありますが、次の日などに振り返りや情報の共有を行っている ・できたことなどを伝えあっている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	104%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている ・次回からどう対応・支援していくか話し合い、改善している ・毎日記録を残している ・毎回その日のうちに記録を書き、支援の改善につなげるよう行っています
	20	定期的にモニタリング（児童の様子の観察）を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性があるかどうかなどを相談しているか	100%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子の変化は、クラスミーティングで話し次回の支援にも活かしている ・クラスMTでしている ・モニタリングは随時行っている
関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか (連携して知り得た情報は、各クラスLINEで情報共有を実施している)	104%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保健師さんと情報共有し、現状の把握を行っている／ ・関係機関との連携は随時行っている
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか (連携して知り得た情報は、各クラスLINEで情報共有を実施している)	104%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、子ども園、幼稚園と定期的に連携し情報共有と相互理解を図っている ・情報の共有があり、事業所と家庭との連携が取れることは児童にとって支援に活かしていると感じる ・関係機関との連携は随時行っている
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか (連携して知り得た情報は、各クラスLINEで情報共有を実施している)	100%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携は随時行っている
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか (R.6.11月に、ときわ児童発達センターの研修を受けている。)	100%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との情報共有や専門機関の研修会などにも参加している
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか (感染症対策のため、今は行っていない)	15%	4%	85%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は行っていないが、今後行っていけると良い ・他の事業所の動向をしらべつつも実行に向けて努力したい ・行っていない ・不明
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や面談時、またlineなどを利用して事業所での日頃の様子や発達の状態などについて共通理解をもっている ・送迎時に毎回様子を伝えていてとても良いと思う。療育時の写真や動画の送信も行っておりそれも良いと思う ・送迎者が毎回同じ者ではないため、保護者によっては違いを感じるかもしれない。最低限伝える内容など、ある程度スタッフ間で決めておいた方が良いかなと思う時もあります ・送迎の時にその日頑張ってきたことなどお話をしますが、時々伝えそびれてしまうことがある
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、面談時などに保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	85%	11%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・把握できていない ・面談時などは保護者からの相談をお聞きし、アドバイスなどをお伝えしている ・児発管が面談し、チームで支援できるよう行っている ・ペアトレを実施できる人材の確保が必要

保護者への説明責任等	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか (契約時に説明している。)	104%	0%	0%	・行っている
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	104%	0%	0%	・行っている
	30	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	104%	0%	0%	・都度、対応している ・私は直接的にしてないが、児発管を通して行っている ・行っている ・都度、連絡が来た際に送迎時など、保護者からの悩みを聞き、すべてのスタッフが共有し、助言、支援につなげるよう行っている
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか (2025年は開催を考えている。)	11%	15%	74%	・行っていないが、今後行っていけるとよい ・日時、担当などを決めて準備をしないと、限られた人員、施設スペースでは実行することが困難だと思われ ・感染症などへの不安や心配があり開催はできていない ・保護者として、保護者同志の連携は必要ないと思っていられる方も多いと思うので、これは必要かどうかわからない
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	104%	0%	0%	・可能なことに関しては、都度対応できている ・適切に対応を行っている
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	4%	0%	・ゆにつく通信を発行している ・通信や行事の連絡は行っている。会報などは把握できていないところもある ・行っている。日頃はlineを活用し「ゆにつく通信」や季節の遊び(屋外にて行われる雪遊びの準備についてなど)のお知らせをお送りするなど発信している
	34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	104%	0%	0%	・USBなどで管理する記録はフルネームで記載せず、ひらがなで下の名前のみで記録を残すなど個人情報が外部に漏れないように工夫している。療育室のパソコンが外部のウイルスにアタックされないように、ウイルスバスターなどを利用している
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	・一方的に情報を伝えるだけではなく子どもや保護者に伝わりやすいようにしている
非常時の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	96%	7%	0%	・マニュアルがないものがあるため今後職員間で話し合い作成を検討する ・避難訓練や研修できている ・実施している
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	96%	7%	0%	・行っている ・年に必要な回数の避難訓練を行っている ・定期的に避難訓練をおこなっています
	38	事前に、服薬等のこどもの状況を確認しているか (アセスメント資料に記入をもらっている。)	100%	4%	0%	・確認している
	39	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか (アレルギーの有無は、契約時及び年1回確認を行っている。今のところ、アレルギーについて医師の指示を受けている児童はいない。)	96%	7%	0%	・心配な児童がいる。保護者に受診をすすめている ・保護者からの聞き取りを行っている
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	104%	0%	0%	・ミーティングで各クラスヒヤリハット、事故報告をし、今後の対策について話している ・行っている ・全体でのMTで報告し共有している ・報告書を作成し事例集をスタッフ間で見れるようにしています
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	96%	7%	0%	・MTで共有し、防止につなげている ・研修を行っている
42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	85%	19%	0%	・申し訳ありません、把握できておりません ・把握できていない ・児童発達支援計画に記載し、説明を行っている	